⑵　提出書類等の所要事項は正確に記入又は入力すること。
⑶　受験に際し、身体に障害があるため特に何らかの措置を希望する者は、申込時にあらかじめその旨を申し出ること。
⑷　試験の詳細については、別に作成している受験案内、人事院のホームページ等を参照すること。

別記１

専　門　試　験　出　題　分　野　一　覧

専門試験（多肢選択式）

（試験の区分）	（出題分野）
行政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法（総則及び物権）、民法（債権、親族及び相続）、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学・経済事情、経営学、国際関係、社会学、心理学、教育学、英語（基礎）及び英語（一般）のうち、受験者の選択する８科目
電気・電子・情報	工学に関する基礎、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気機器、電力工学、電子工学、電子回路、通信工学及び情報工学
機械	工学に関する基礎、材料力学、機械力学、流体力学、熱工学、機械設計、機械材料及び機械工作
土木	工学に関する基礎、構造力学（土木）、水理学、土質力学、測量、土木材料、土木設計、土木施工、土木計画、環境工学（土木）及び衛生工学
建築	工学に関する基礎、構造力学（建築）、建築構造、建築材料、建築施工、環境工学（建築）、建築設備、建築史、建築計画、建築法規及び都市計画
物理	物理、応用物理及び地球物理
化学	数学、物理、物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生物化学、工業化学及び化学工学
農学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学・植物生理学、畜産一般及び農業経済一般
農業農村工学	数学、水理学、応用力学、土壌物理、土質力学、測量、農業水利学、土地改良、農村環境整備、農業造構、材料・施工、農業機械及び農学一般
林学	林業政策、林業経営学、造林学、林業工学、林産一般及び砂防工学

専門試験（記述式）

（試験の区分）	（出題分野）
電気・電子・情報	電気・電子・通信・情報工学に関連する領域
機械	機械工学に関連する領域
土木	土木工学に関連する領域
建築	建築設計製図
物理	物理に関連する領域
化学	化学に関連する領域
農学	農学に関連する領域
農業農村工学	農業農村工学に関連する領域
林学	林学に関連する領域

別記２

試験の区分「行政」の場合は、採用を希望する地域（試験の区分）に対応する第２次試験地で受験する。

試験の区分「行政」以外の場合は、第１次試験を受験した都市に対応した第２次試験地で受験する。

１．試験の区分「行政」

試験の区分	第１次試験地	第２次試験地
行政北海道地域	札幌市　盛岡市	札幌市
行政東北地域	仙台市　秋田市 さいたま市　習志野市	仙台市
行政関東甲信越地域	東京都　新潟市 長野市　静岡市	さいたま市　東京都
行政東海北陸地域	名古屋市　金沢市	名古屋市　金沢市
行政近畿地域	京都市　大阪市	大阪市
行政中国地域	神戸市　松江市 岡山市　広島市	広島市
行政四国地域	山口市　高松市	高松市
行政九州地域	松山市　福岡市 北九州市　熊本市	福岡市
行政沖縄地域	鹿児島市　那覇市	那覇市

注）　試験の区分「行政関東甲信越地域」及び「行政東海北陸地域」の第２次試験地については、以下のとおりとする。
・「行政関東甲信越地域」　さいたま市又は東京都のいずれかを第１次試験合格通知書で指定
・「行政東海北陸地域」　名古屋市又は金沢市のいずれかを第１次試験合格通知書で指定

２．試験の区分「電気・電子・情報」、「機械」、「土木」、「建築」、「物理」及び「化学」

試験の区分	第１次試験地	第２次試験地
電気・電子・情報	札幌市	札幌市
	盛岡市　仙台市 秋田市	仙台市
機械	さいたま市　習志野市 東京都　新潟市 長野市	さいたま市 東京都
土木	静岡市　名古屋市 金沢市	名古屋市 金沢市
建築	京都市　大阪市 神戸市	大阪市
物理	松江市　岡山市 広島市　山口市	広島市
化学	高松市　松山市	高松市
	福岡市　北九州市 熊本市　鹿児島市	福岡市
	那覇市	那覇市

注）　第１次試験をさいたま市、習志野市、東京都、新潟市及び長野市で受験した者の第２次試験地については、さいたま市又は東京都のいずれか、静岡市、名古屋市及び金沢市で受験した者の第２次試験地については、名古屋市又は金沢市のいずれかを第１次試験合格通知書で指定する。